

# 石井としひろの「館山市政かわら版」

(平成31年1月13日発行)

敏 宏

館山市議会議員

## 「市長」と「議会」の二元代表制



### 1、最低投票率の市長選挙の結果を分析

#### ①選挙結果を過去2回と比較すると見えてくる

昨年(平成30年)の11月18日の館山市長選についての選挙分析をよく聞かれることがあるのですが、過去2回の選挙の数字を比較すれば、全体像はつかめます。

	現職	相手 ↓	投票率 ↓	無効 ↑
H30年	11257 票	7552 票	47.71%	345 票
H26年	12344 票	10518 票	56.70%	218 票
H22年	13570 票	10336 票	60.22%	146 票

\*H22年の立候補は3名だったので相手は次点の候補

#### ②投票率は高齢化で下がり、候補者数の影響あり

投票率ですが、高齢化により投票所まで行けない人が増えていることもあって全国的に下落傾向であり、館山市も同様です。(なお、投票に行けない人については、公共交通での対応、自宅投票・代理投票の制度を周知することなども検討課題です)

また、今回と前回は一騎打ちでしたが、前々回(H22年)は候補者が3名だったので投票率が少し高くなったのかも知れません。

#### ③現職は「実績」、対抗馬は「争点」が重要

現職市長は過去2回で、千票くらいずつ減らしています。前述した全国的な下落傾向という自然減もありますが、人口減少や半永久的な不景気、また厳しい財政状況でもあることから、市民の評価が落ちてきているのかも知れません。

一方、対立候補は前々回(H22年)と前回(H26年)は約1万5百票とあまり変わりませんが、それらと比べると今回は約3千票も減った約7千5百票でした。そして、この大幅減が史上最低の投票率の最大の原因です。

現職の対立候補の票が激減したという観点から見ると、現職の批判層が投票に行かず、棄権した可能性が高いのです。それを裏付けるように、投票所に行って無効票を投じた人が345名と、過去2回より大幅に増えています。誤記もあったでしょうが、どちらにも投票したくないという多数の意思表示が見えます。

対立候補が過去2回と比較して不人気だったのは、「争点」がなかったからだと思います。つまり、現状の問題に対して、わかり易く実現可能な「対案」がなかったのです。

#### ④「市長選が駄目なら市議に」だと不人気

また、日本の選挙では、決意として「退路を断つ」ことを求められることが多く、「市長選に落ちたら、市議に

戻りたい」ということでは、多くの支持は集められません。

また戦略的にも、現職市議や市議選に出ようとしている人は、「市長選を落ちたら市議に戻る」という市長候補は応援しづらいのです。なぜなら、自分の支持者をとられてしまう可能性が高く、自分の首を絞めるからです。現に、市長選で落選した人が市議に舞い戻る陰で、市長選を応援した現職市議や市議候補がそのパターンで落選してしまう例は、全国的に見ても枚挙に暇がありません。このことも支持が伸びなかった一因だと思います。

#### ⑤現職の自公推薦候補に勝つのは困難

まず、現職は様々なイベントに毎週招待されており、選挙では人との接触頻度の多さがポイントになりますから、圧倒的に有利になります。

また、行政と関わっている方々の中には、現職に反旗を翻すと干されるのではないかとという恐怖感を持つ人もおり、そういう人にとっては対抗馬を応援するのは勇気がいるのです。

自公推薦については、特に「公明党推薦」で勝負が決してしまうことも多いのです。だから、市長選において、候補者は公明党にすり寄りがちになります。

ゆえに自公推薦の現職に勝つのは困難であり、これは1人区の県議選も同様です。もし勝とうというなら、その現実を踏まえた対策をすることと、一騎打ちに持ち込むことも重要です。確実に言えることは、争点がぼやけ、公明党推薦を取られ、候補乱立では現職には勝てません。

#### ⑥政治をもっと面白く！

今回は特別に投票率が低く、その理由を書いてきたわけですが、それ以前の話として、政治に人気がないゆえに投票率が落ちているという現状があります。

不人気の理由は、現職政治家の活躍が足りないこともありますが、情報発信に消極的でなおかつ下手だという実情もあります。わかり易く伝えるには、やはり「面白く」という工夫も大事です。

政治は選挙から入ると、応援している候補の政策もわかるようになってきて、対立候補の政策にも関心が出てくることもあります。私も議員になる前は、千葉県各地で色々な選挙を手伝ったり、見たりしてきました。そうしたところ、大学の講義では「上の空」だった政治学も、なんとなく解るようになってきたものです。

今まで私が発行したチラシで選挙分析を書くことはありませんでしたが、政治に興味を持つ一助になればと思い、敢えて取り上げてみました。

## 2、市政の課題と「議会」のあり方

### ①争点にならなかった「ごみ焼却場問題」

袖ヶ浦・木更津・君津・富津の上総4市の次期ごみ焼却施設計画に、鴨川市・南房総市・鋸南町が合流を決めたことから、「館山市は単独だと経費がかかるだろうから同じく合流しなくて大丈夫か？」とよく聞かれます。

まず今回の上総4市が計画している富津市新富という計画地は、君津市の近くで、距離で言うと青堀駅くらいの遠さで、館山から車で1時間くらいかかります。日常のごみ処理施設としては遠すぎる感があります。

また、非日常の災害時などの場合に、安房地域に一つもごみ焼却場がないというのはまずいと思います。一昨年台風で、平砂浦が甚大な高潮被害にあいましたが、その時に困ったのがガレキの撤去でした。

市として迅速に撤去を完了させられなかったという反省点がありますが、それでもごみ処理場に搬入できたことと、館山市の職員がいて処理を行えたのは大きかったです。

なお、上総4市の施設完成は順調に行って9年後です。それまで老朽化著しい館山市の炉は持たないでしょう。もし、焼却炉が止まれば、その間のつなぎとして年間5億円を超える委託費等が発生します。上総4市の計画に今から加わるのは極めてハイリスクであり、やめた方がいいと思います。

市長選挙で争点にならなかったのは、広域から離脱する時も、最終的には館山市議会の全議員が離脱に賛成していますし、上総4市の計画にも具体的に加わろうという動きが議会としてもなかったからです。

【写真は西岬地区西川名で、私も加わったガレキ撤去の作業。平成29年10月27日のこと】



### ②「市長」と「議会」による二元代表性

昨年は、給食センター建替えについて財源的な目途がつかしました。また、小中学校等へのエアコン設置についても、12月議会で財源の目途が付き、今年の夏には間に合いそうです。ただ、未だに耐震性に不安のある三中建替えの財源の目途は立っていません。

この三中の建替えができてないという事実一つとっても、館山市の財政が非常に厳しいのは明らかです。そして、財政がおかしくなった最大の原因は過去のハコモノ行政にあったと思います。ハコモノは作る時も大きな建設費が問題になりますが、むしろ作った後の運営・維持管理のコストは建設費の3倍くらいになり、長期に渡って財政をむしばみます。私は全国の事例をよく調べていますが、財政の悪い市町村は、たいてい過去にハコモノ行政をやっていました。

しかし、最近の4年間においては、将来に禍根を残すような開発計画はなく、目立ったところはなかったものの着実にやるべきことをやってきたと思います。それは市長と議会が、馴れ合うこともなく、かといって不毛な対立をすることもなく、二元代表性として適度な緊張感を持って市政にあたっていたからでしょう。

そして、個々の議員が行政に要望するだけでなく、18名の議員全員で、あるいは3グループに分けた6人ずつの委員会で、活動し行政に対して集約した意見を上げていくことも増えていきました。また、議会や委員会で、市民の意見を聴き、現場を見に行く機会も増えました。議会も良い流れが出来つつあるので、この路線を継続・発展させるように、私も頑張っていきます。

### ③市長と議員の馴れ合いは市民の損失となる

一番いけないのが、議員と市長（行政）の馴れ合いです。「議員が自分の要望を通すため、行政の悪い点を見て見ぬふりをして貸しをつくり、行政はその借りを返すために、その議員の変な要望に予算をつける」「市長与党として議員が多数派を形成し、議案を全て素通りさせて、その代わりに利権をもらう」というのが、地方議会によくある悪いパターンです。

こうなると財政はパンクし、破綻している事実は隠されます。また、このような密室で物事を決める形になると、市民不在のまま勝手に物事が悪い方に進んでいきます。例えば、住民の意見を聴かないで施設の統廃合を強行したり、いきなりの公共料金の値上げといった形で市民に不利益が降りかかってきます。

私は、このような議会にならないように、今後とも注意して活動していきます。

#### <お知らせ>

「市政報告&意見交換会」を行います。  
**1月26日(土) 館山地区公民館2F会議室**

(館山小学校正門を入れて右側)

**時間：14:00～15:30頃**

入場無料・予約不要なので当日、お気軽にお越し下さい。質疑応答と意見交換の時間も十分に設けます。入退室自由ですので、ご都合のつく時間だけでもいらして頂ければと思います。

石井としひろ 略歴  
昭和47年2月26日生まれ。  
館山二中、安房高、立教大学法学部卒業。平成23年4月に館山市議会議員に初当選。



<発行者> 石井敏宏

〒294-0038 館山市上真倉320-2

TEL&FAX: 0470-23-7738

携帯: 090-1557-5515

メール ishiitoshihiro1@gmail.com

ブログ <http://ameblo.jp/ishiitoshihiro/>